

報告事項

山陰海岸学習館の在り方策定検討委員会の検討結果について

山陰海岸学習館の在り方策定検討委員会の検討結果について、別紙のとおり報告します。

平成26年3月21日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

山陰海岸学習館の在り方策定検討委員会の検討結果について

平成26年3月21日
博 物 館

山陰海岸学習館の在り方を策定するため「山陰海岸学習館の在り方策定検討委員会」を設置し、その調査審議結果が別添報告書にまとめられ、平成26年3月17日、西田良平委員長から横濱純一教育委員会教育長に報告書を添えて提言が行われました。

提言等の概要は下記のとおりであり、当該提言を踏まえて同館の今後の取組等について検討を進めていきます。

1 提言の概要

山陰海岸学習館が、様々な取組で成果をあげて高い評価を得てきたことを認める。

同館が鳥取県立博物館の「附置」施設であることを踏まえつつ「めざす姿」等を定めた。

新たな役割等もあり、全て実施する場合は職員体制の充実や施設設備の拡充等の財政措置並びに「鳥取県立博物館の在り方の検討」も合わせた総合的な検討が必要と考えるが、同館が地域の期待に応えながら発展していくために必要不可欠であることから、これらの役割や取組を着実に遂行することを提言する。

(1) めざす姿

発見や体験をとおして山陰海岸ジオパークへの驚き・感動・知的好奇心が高まる博物館

(2) 求められる役割

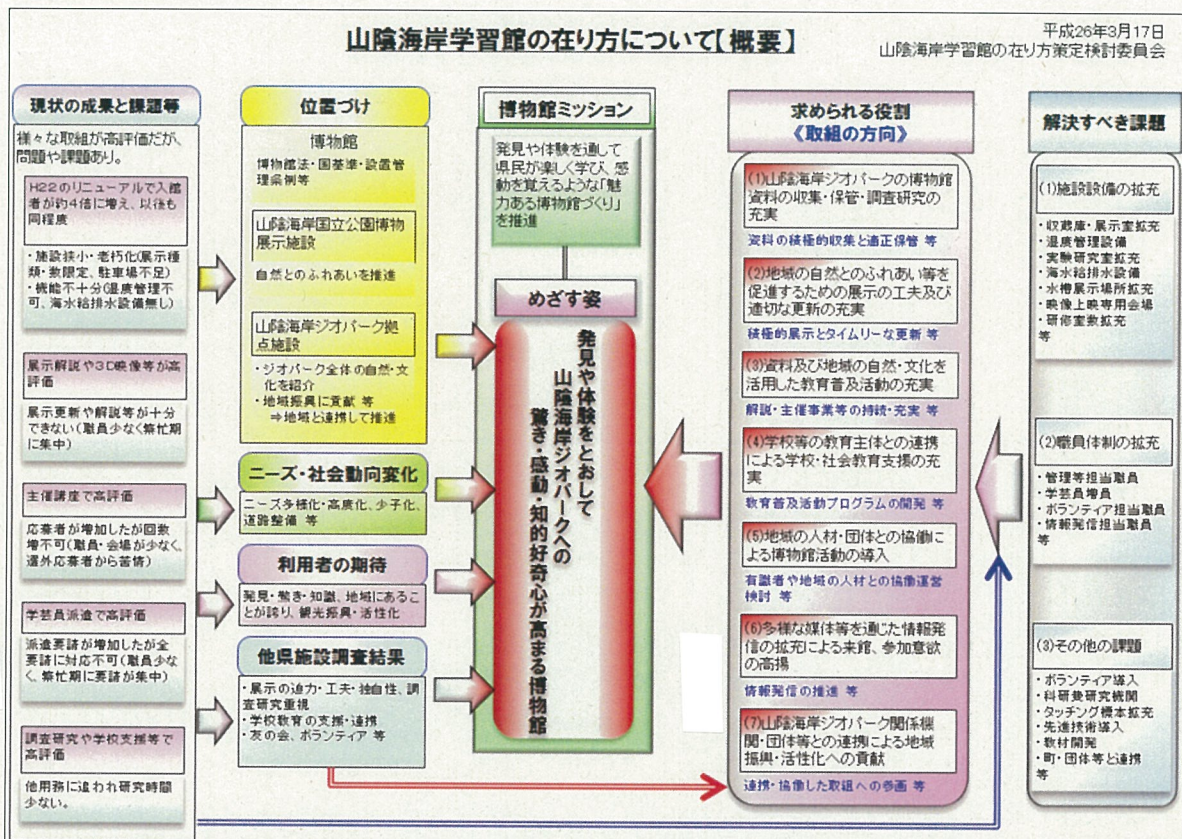
ア 山陰海岸ジオパークの博物館資料の収集・保管・調査研究の充実

イ 地域の自然とのふれあい等を促進するための展示の工夫及び適切な更新の充実

ウ 資料及び地域の自然・文化を活用した教育普及活動の充実

等

2 報告書の概要



3 調査審議経過

平成25年

- 5月15日 「山陰海岸学習館の在り方策定検討委員会設置要綱」制定、検討委員会委員委嘱
- 6月7日 第1回検討委員会(会場：岩美町立渚交流館)
 ・検討委員会の趣旨、検討スケジュール等説明、現地視察
 ・委員長選出
 ・山陰海岸学習館の現在の位置づけと役割、沿革及び取組実績等の現状 等
- 7月30日 第2回検討委員会(会場：鳥取県立博物館)
 ・社会情勢の変化を踏まえた将来見通し
 ・将来のあるべき姿と求められる役割
 ・報告書の構成・概要、県外施設調査日程 等
- 10月11日 鳥取県附属機関条例に基づき「山陰海岸学習館の在り方策定検討委員会運営要綱」制定、検討委員会委員任命
- 2月2日 第1班 県外施設視察調査
 ～24日 (神奈川県立生命の星・地球博物館、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、国立科学博物館)
- 2月9日 第2班 県外施設視察調査
 ～31日 (糸魚川フォッサマグナミュージアム、富山市科学博物館、滋賀県立琵琶湖博物館、京都水族館)
- 11月12日 第3回検討委員会(会場、鳥取県立博物館)
 ・県外施設視察調査結果
 ・報告書及び概要の素案 等

平成26年

- 2月12日 第4回検討委員会
 報告書等最終検討
- 3月17日 ・山陰海岸学習館の在り方策定(報告書完成)
 ・委員長から教育委員会教育長に報告書を添えて提言

【参 考】山陰海岸学習館の在り方策定検討委員会委員

所属・職	氏名	所属・職	氏名
鳥取大学名誉教授	にしだ りょうへい 西田 良平	岩美町商工観光課長	すぎむら ひろし 杉村 宏
鳥取環境大学地域イノベーション研究センター講師	にいな あつこ 新名 阿津子	岩美町教育委員会教育長	てらにし けんいち 寺西 健一
大阪市立大学大学院理学研究科教授	みたむら むねき 三田村 宗樹	岩美町立岩美北小学校長	たにぐち けん 谷口 謙
浦富自然保護官事務所自然保護官	やまざき たかゆき 山崎 貴之	いわみガイドクラブ副代表	ふくはら よういちろう 福原 陽一郎
県山陰海岸世界ジオパーク推進室長	なかたに ひであき 中谷 英明	NPO法人岩美自然学校理事長	さわ けんいち 澤 健一